

# 津波に備えましょう

## 津波警報が発表されたら

まず避難→**なによりもまず避難が大切です。**

避難してから最新の情報を確認しましょう。

避難の継続→津波は繰り返し押し寄せます。

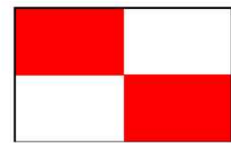
津波警報等や避難指示が解除され安全が確認されるまで避難を続けましょう。

## 津波を知る手段

津波警報等は、テレビ・ラジオ、携帯電話等で知ることができます。

また、津波フラッグにより、海水浴場等において聴覚障害者や遊泳中の人に視覚的に津波警報等知らせています。

※ 全ての海水浴場等で導入されているわけではありません。



津波フラッグ

※ 参考 気象庁ホームページ

**テレビ**

**ラジオ**

**携帯電話**

**津波フラッグ**

## 率先避難

津波が発生した場合は、「**人ごとではない**」という意識が必要です。

人はいざというときになかなか「逃げる」ということができません。

「ここまでこないだろう、自分のところは大丈夫」と都合のよい解釈をします。災害では逃げるという意味決定ができずにいると、あっという間に犠牲になってしまいます。

自分が「率先避難者」となることで、周囲も同調して避難するようになり、自分の命も周りの命も救うことになるのです。

※ 兵庫県には、「ひょうご防災ネット」というアプリがあり、緊急情報のほか、地震情報や津波情報、気象情報が確認できますので、もしもの備えとして登録しておくといざというときに役立ちます。

情報を基に、自らの判断で、自らの命を守りましょう。